

新型コロナへの対応について

ようやく今週から学校再開となっています。これまでから保護者の皆様には、大変お忙しい中、毎朝お子様の検温等健康観察などの依頼をしているところです。しかし6月1日も各学級5名程度学校全体では100名近く、朝の検温連絡なしに登校している児童が見られました。

本校では、休校明けの今児童玄関通過の際サーマルカメラでチェックし、自宅で検温できなかつた児童は、1時間目が始まる前に再度検温を行っています(写真)。

各ご家庭において、朝は大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、全校休校という措置が二度と必要となることが無いように、是非とも登校前の毎朝の健康観察と検温連絡のご協力を改めてお願いします。

学校としても、児童玄関内正面にも、右の信号機のような表示を示しています。校内の感染状況を端的に表して、これを見ながら、児童も確認して行動に注意を促すものです。

	「学級閉鎖の可能性」		「陽性者あり」		「現在異常なし」
---	------------	--	---------	---	----------

また、昨今マスク着用を含めて新型コロナ対策について、緩和する方向と受け取ることができる内容の報道が見られます。そこで、改めて国や県の方針を確認しました。令和4年5月23日文科科学省初等中等教育局健康教育・食育課からの事務連絡「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更等の通知冒頭に



5月23日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更されましたので、お知らせします。学校関係の記載については、マスク着用の考え方等が改めて追記されましたのでお知らせします。なお、**学校におけるマスク着用の考え方については、現在の学校衛生管理マニュアルに示す内容から変更ありません。**

と記載されています。

但し、今後はより熱中症対策等にも十分留意する必要がありますので、下の5月25日付兵庫県通知「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」に基づき対応してまいりたいと考えております。

マスク着用について

マスクについては、着用をお願いする場合とそうでない場合がありますので、適切な対応をお願いします。特に夏場においては、熱中症予防の観点から、可能な場面では、マスクを外していただいで構いません。

1. マスク着用の基本的な考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注1)	屋外	屋内(注1)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)(注2)	着用の必要はない (公園での散歩、ランニング、サイクリング等)	着用を推奨する (休憩室等限定スペースでの会話等)	着用を推奨する (屋外イベントでの近距離の会話等)
会話をほとんど行わない	着用の必要はない (図書館での読書、芸術鑑賞等)	着用の必要はない (同上)	着用を推奨する (通勤電車、人混みの中等)	着用の必要はない (徒歩での通勤など屋外で人とすれ違うような場合)

(注1) 屋内とは、外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

(注2) 換気及び距離が保たれた会議等で発言しない場合は「着用の必要はない」

(注3) 「着用の必要はない」場面のうち、お年寄りや会う時や病院に行く時など **ハイリスク者と接する場合にはマスク着用を推奨**

2. 小学校就学前の児童のマスク着用

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- 2歳以上は、保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。ただし、施設内に感染者が生じている場合などは、施設管理者等の判断により、可能な範囲でマスクの着用を求めることが考えられる。

3. 学校等での児童生徒のマスク着用

- 身体的距離が確保できる場合や体育の授業、気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を優先し、マスク着用は奨めない。
- 部活動では、体育の授業における取扱いに準じつつ、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応し、練習場所や更衣室等での会話や食事、集団での移動にあたっては、マスク着用及び換気などの感染対策を徹底する。